

豊かな暮らしのコーディネーターとしておかげさまで 45 周年

# SANWADO

Departure for the **50**<sup>th</sup> anniversary

「50 周年に向けて発進」

平成24年2月期


第2四半期 決算説明会資料

株式会社サンワドー

平成23年9月22日

# 1. 当社概要

## 会社概要

社名	株式会社サンワドー
本社所在地	青森県青森市大字石江字三好69-1
代表者	代表取締役社長 中村 勝弘
設立	1988年6月1日
資本金	7億402万円
店舗数	ホームセンター23店舗 青森県13店舗、北海道9店舗、秋田1店舗
従業員数	※ 782名（社員268名、準社員514名）
発行済株式数	5,280,000株
	証券コード7430



## 沿革

- 1988年 有限会社 三和部品の法人組織、商号を変更し株式会社 三和堂として第1種大型小売店舗ドゥッシュップサンワ青森中央店を出店
- 1991年 札幌市を中心に北海道内にホームセンターを13店舗展開している（株）松崎と業務提携、北海道進出の足がかりとなる「イエローハット」とフランチャイズ契約を結び出店を開始
- 1992年 業務提携した（株）松崎より分社した（株）ホームセンターマツザキの全株式を取得
- 1994年 商号を株式会社 三和堂から株式会社 サンワドーに変更
- 1995年 青森県初の店頭公開企業として日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1996年 ドリームサンワドー八食店 1,700坪 出店
- 1998年 札幌新道店S&B。売場面積1,500坪にて出店
- 1999年 ブランドショップ1号店BAL青森中央店出店
- 2003年 業務用食品専門店「業務スーパー」の展開を開始
- 2009年 大型店に食品／青果／酒を導入 食品館を併設した改装ラッシュ
- 2010年 ニコニコレンタカー業務を展開
- 2011年 青森県営スケート場を2年間ネーミングライツ契約「サンワアリーナ青森」  
青森中央店にてデジタルサイネージサービスを展開

※ 平成23年 8月20日 現在

## グループ企業

株式会社ワールドジャンボ（カー用品販売）	三和部品株式会社（自動車用品卸売業）
資本金 10百万円	資本金 10百万円
持株比率100%	持株比率100%

# 1. 当社概要

お客さま、お取引先さま、従業員の3つの和を創業の心に、豊かな暮らしのコーディネーターとして、地域の皆さまの暮らしを豊かにする地域企業として地域の皆さまと共に45周年。



ホームセンター



食品館/  
業務用食品販売



カー用品販売



ブランド品販売



家電販売



中古自動車パーツ販売



BAL  
ブランド専門店  
ブランドシティBAL

てんきの  
セキド

オイル販売



## 子会社



(株) ワールドジャンボ  
カー用品販売  
青森県内9店舗



三和部品 (株)  
自動車用品卸売

## 2. 業界動向について



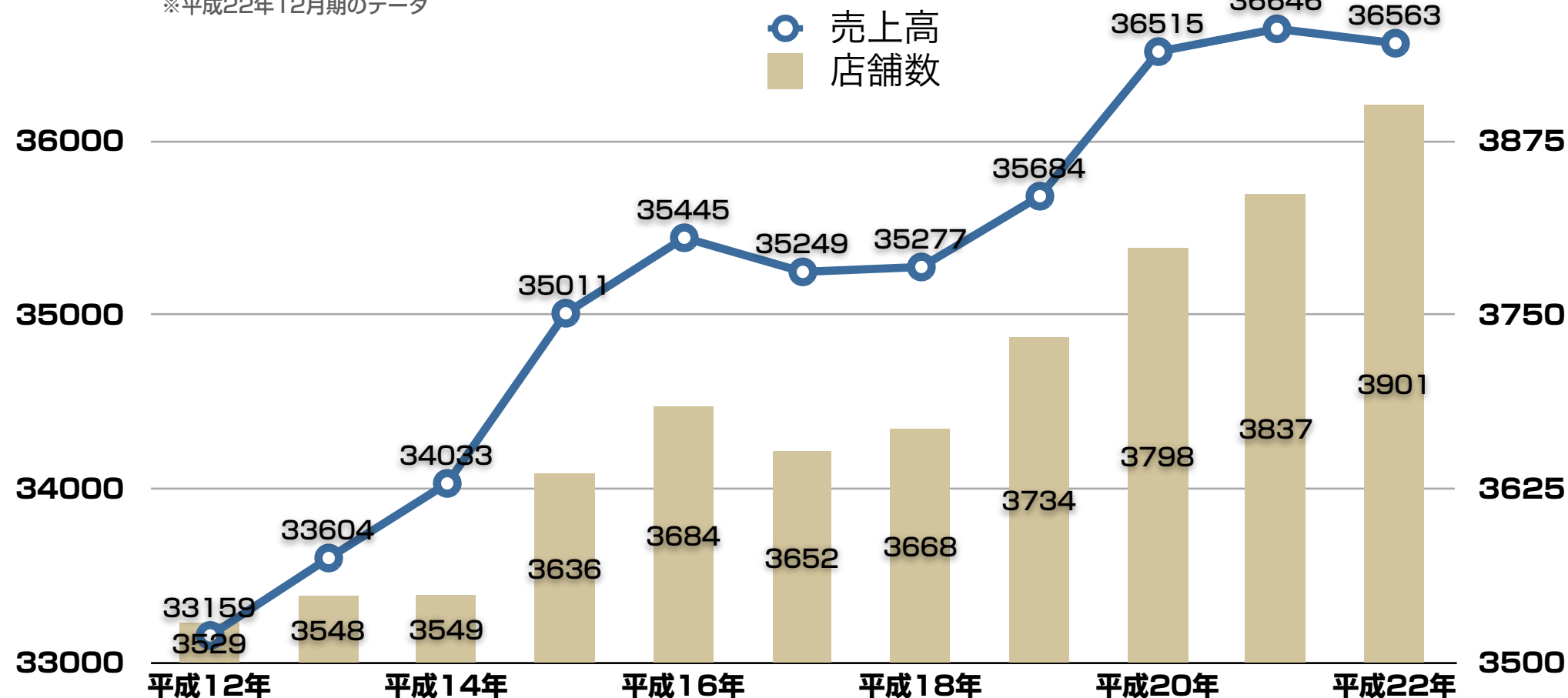
### ホームセンター市場規模と店舗数の推移

2010年は3兆6,563億円と微減、店舗数は3,901店舗と増加傾向

単位：億円  
37000

単位：店  
4000

※平成22年12月期のデータ



## 2. 業界動向について



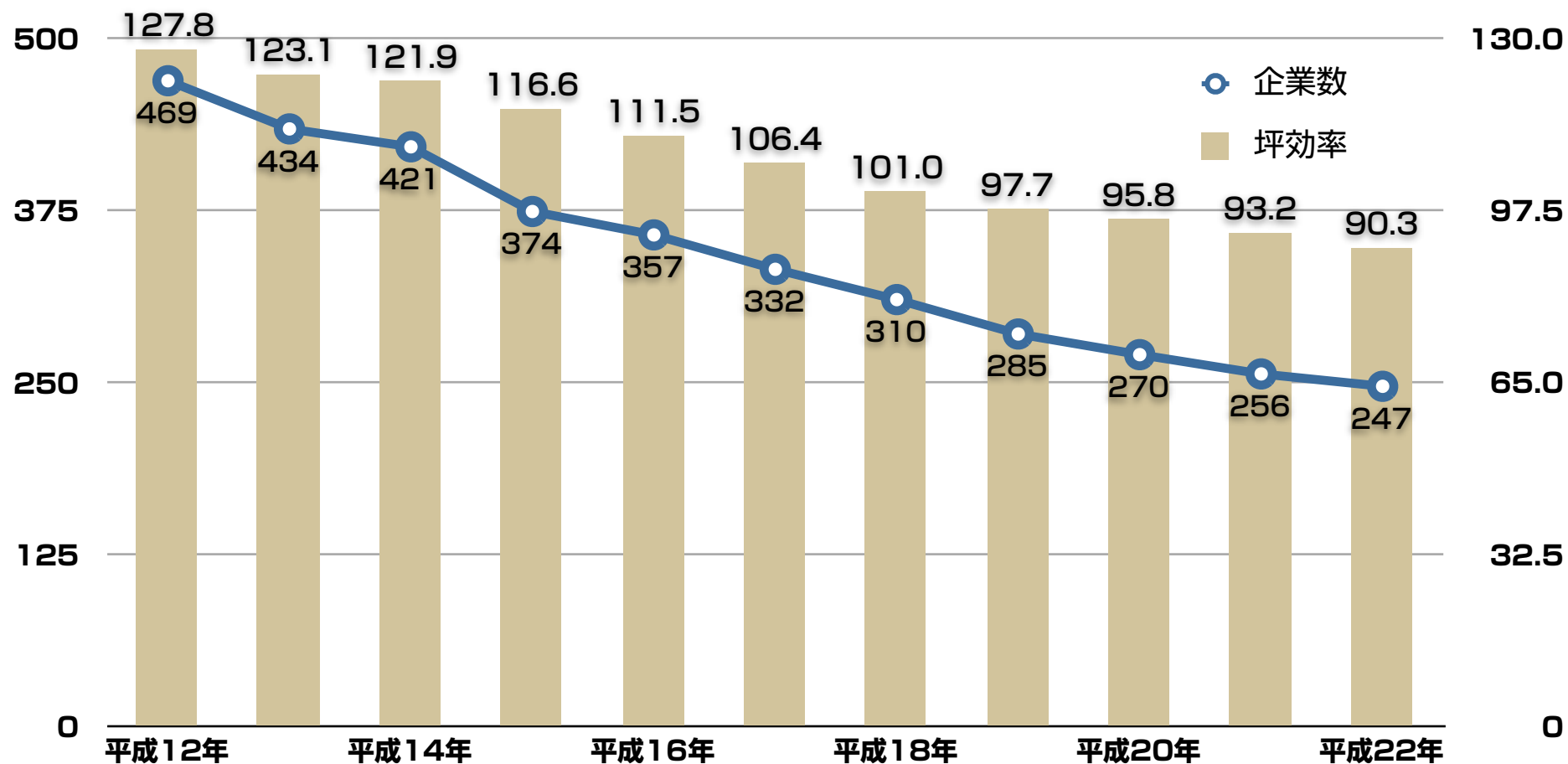
ホームセンター 経営企業数と坪効率は減少

※平成22年12月期のデータ

経営企業は時代とともに「勝ち組」と「負け組」で淘汰が進む

単位：社

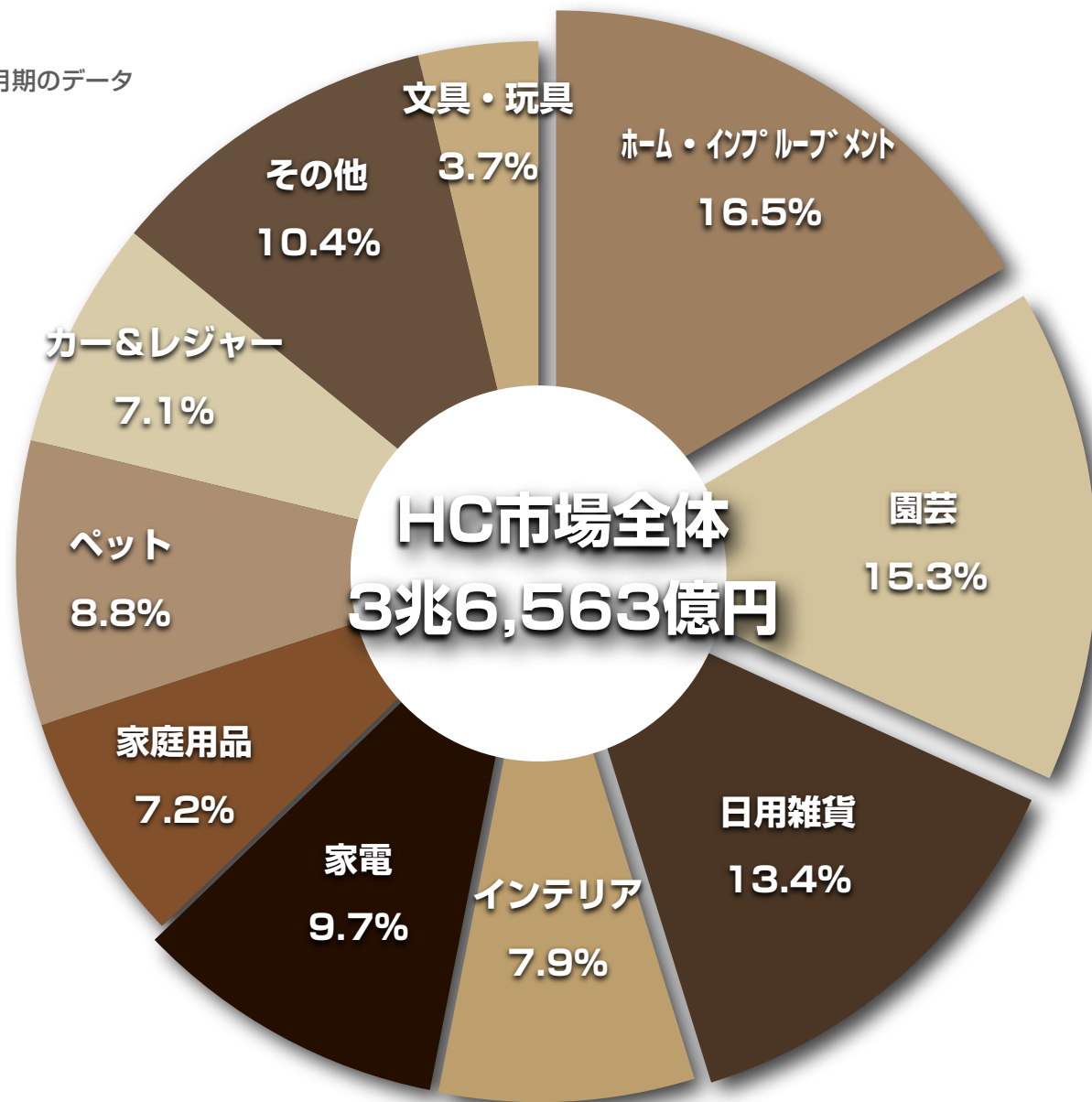
単位：万円



## 2. 業界動向について

### HC市場の商品部門別売上構成比

※平成22年12月期のデータ



- ホーム・インフラメント
- 園芸
- 日用雑貨
- インテリア
- 家電
- 家庭用品
- ペット
- カー&レジャー
- その他
- 文具・玩具

# 3. 弊社の東日本大震災の影響



余震の続く被災地でも停電の中でもお客さまのニーズに応え営業継続

## ■当日3月11日

お客さま、従業員に怪我はございませんでした。

被害：八食店（八戸市）の天井スプリンクラーの故障

営業：青森県、秋田県は一時的に営業を中断するが、1時間程度で発電機を使用して順次店頭で入口で営業を再開。

## ■震災後

防災用品、住宅資材、食品・日用品等の販売が増加

## ■被災地支援

義援金：青森県災害対策本委員会に1,000万円を寄付。

その他、店頭募金に寄る義援金として150万円を日本赤十字社に寄付。（H23年6月時点）



東北！  
がんばろう

震災直後の八食店の様子。  
食料品や日用品の調達のための長蛇の列。  
自家発電でレジを電卓にして営業継続。

# 売上について

現状分析

## ○ 震災特需で売上増

震災直後より生活必需品、防災用品、住宅資材等の災害復興関連商品の確保及び販売に全力で震災特需を取り組みました。

## ○ 食品部門拡大で増収

「家計応援」ロープライス戦略商品の見直し、及び、3月から7月に、青森中央店、ザ・サンワ柏店、八食店への業務スーパー導入、及び上磯店の改装および食品部門の強化を行いました。

# SANWADO



サンワドー

# 4. 業績の概要

## 連結ベース 売上高の推移

(単位：百万円)



		前々期 22年2月期 第2四半期	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
連結売上高		14,615	14,430	↑ 15,404	974	6.8
小 売 部 門	食品	2,867	3,354	↑ 4,468	1,114	33.2
	リビング	3,593	3,469	3,337	▲132	▲3.8
	ペット&グリーン	2,473	2,316	↑ 2,333	17	0.7
	カー・レジャー	2,178	1,993	↑ 2,045	52	2.6
	DIY	1,167	1,080	↑ 1,115	35	3.2
	家電	979	981	↑ 1,030	49	5.0
	ブランド その他	765 368	662 334	533 301	▲129 ▲33	▲19.4 ▲9.7
部門計		14,393	14,191	↑ 15,164	973	6.9
卸売		221	238	↑ 239	1	0.3



(単位：百万円)

		当期 24年2月期 第2四半期
連結売上高		15,404
報 告 セ グ メ ン ト	リビング	4,903
	食品	4,468
	DIY & グリーン	3,448
	カー & レジャー	2,065
	計	14,885
その他		518

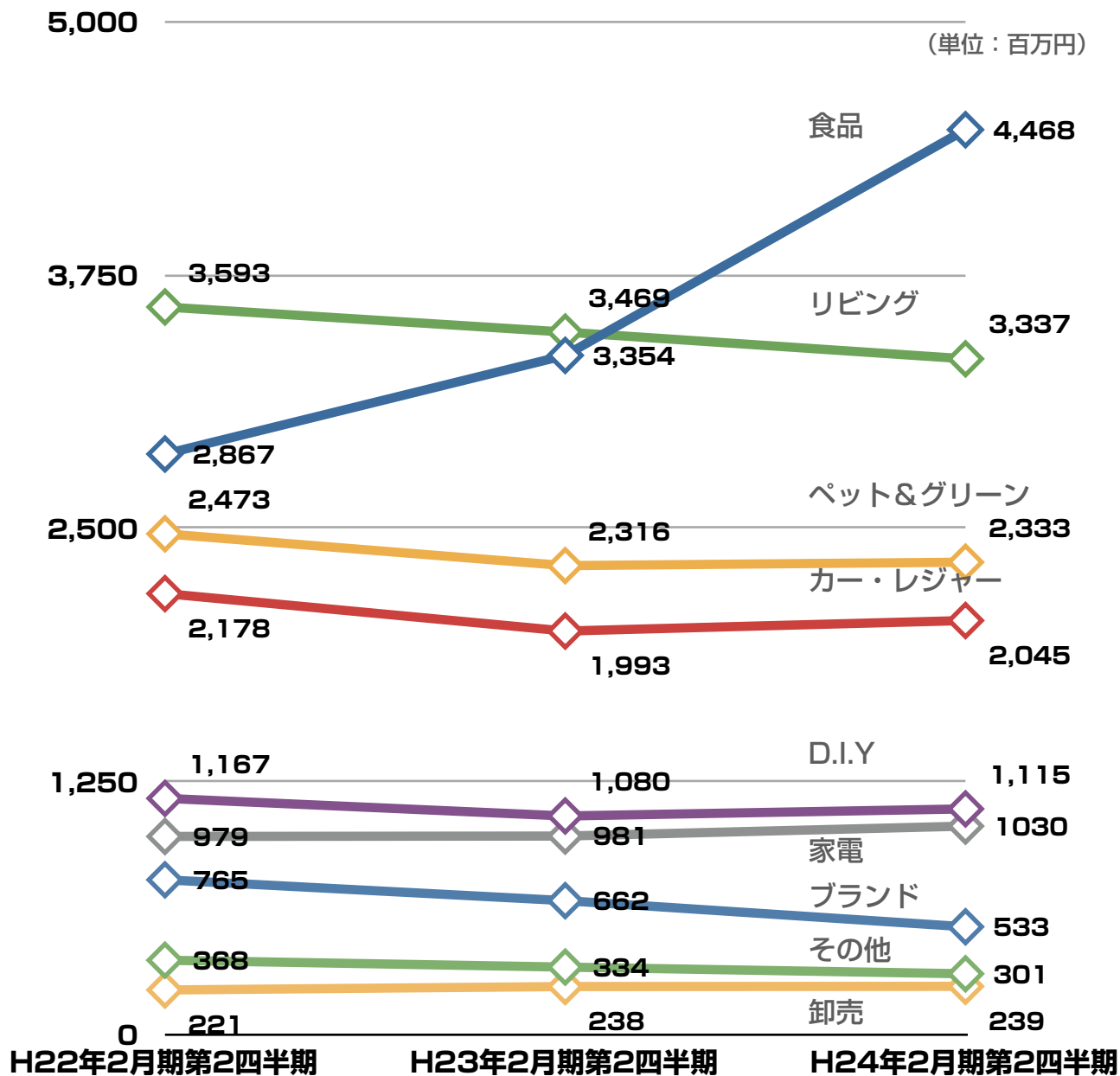
※平成24年2月期より、セグメント構成を変更しており、新セグメント構成での売上高は上記のとおりです。

「食品」4か店の改装及び震災後の買い占め傾向で、精白米、カップラーメン、飲料水等の売上が伸長。また、猛暑が影響し、缶飲料、ペットボトル飲料等のケース販売が増え昨年対比133%と好調に伸びました。

「家電」7月24日の地上デジタル放送完全移行に伴う、薄型液晶テレビ及び地上デジタルチューナーの販売が売上増に貢献。

「DIY」や「グリーン」では震災直後からコンパネ、合板類、波板、床材など建築資材等の復興資材が継続的に伸長し、防災意識の高まりによる防災用品や大型発電機等が好調に推移しました。その反面、「リビング」「ブランド」では春の新生活関連商品や高額ブランド品等が震災の影響により売上を大きく落とし、「ペット」では猛暑が影響しペットフード等の販売が苦戦しました。

# 4. 部門別売上高の推移



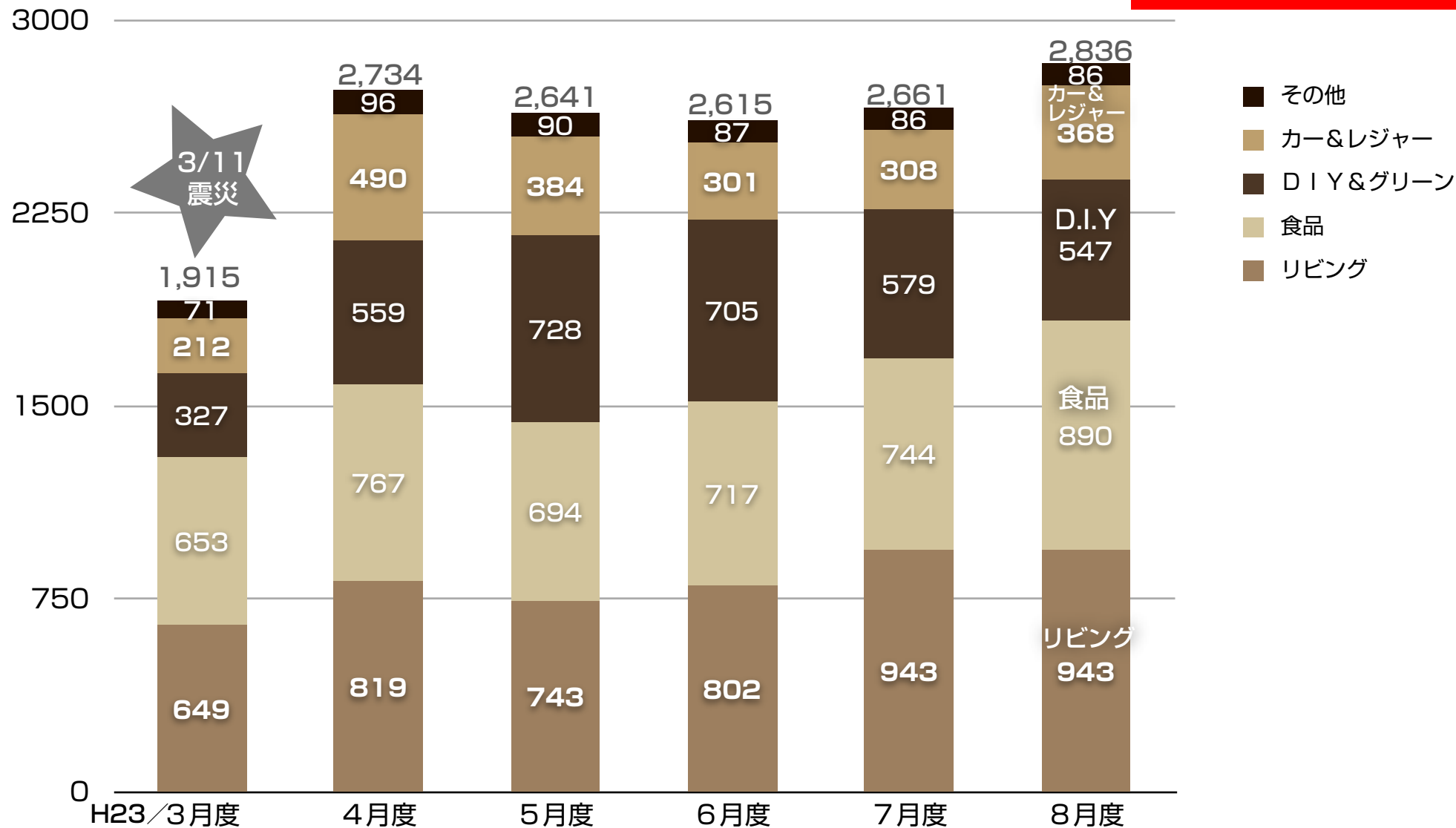
部門	構成比率 (%)
◆ 食品(酒／業務スーパー含む)	29.0%
◆ リビング	21.7%
◆ ペット&グリーン	15.1%
◆ カー・レジャー	13.3%
◆ D I Y	7.2%
◆ 家 電	6.7%
◆ ブランド	3.5%
◆ その他	2.0%
◆ 卸 売 (自動車部品)	1.5%

# 4. 月次売上動向の推移



H24年2月期第2四半期 月次売上動向（連結）

(単位：百万円)

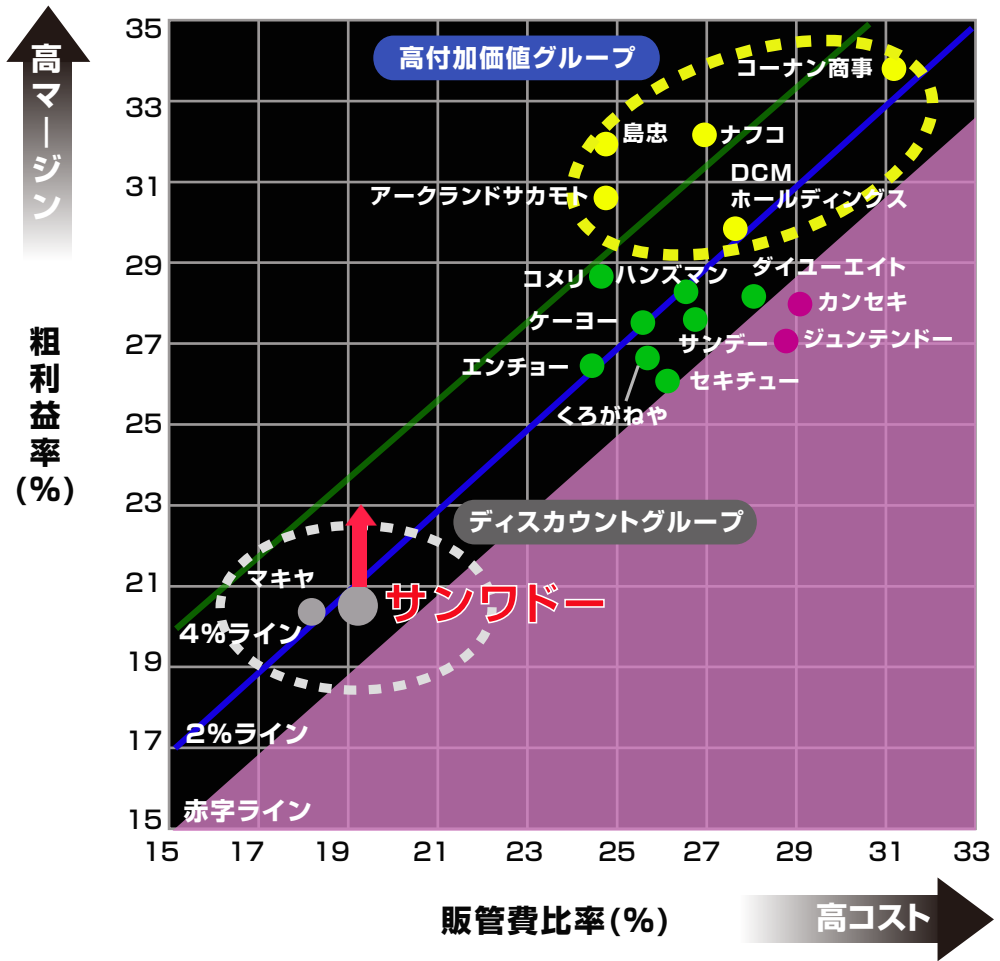


DATA

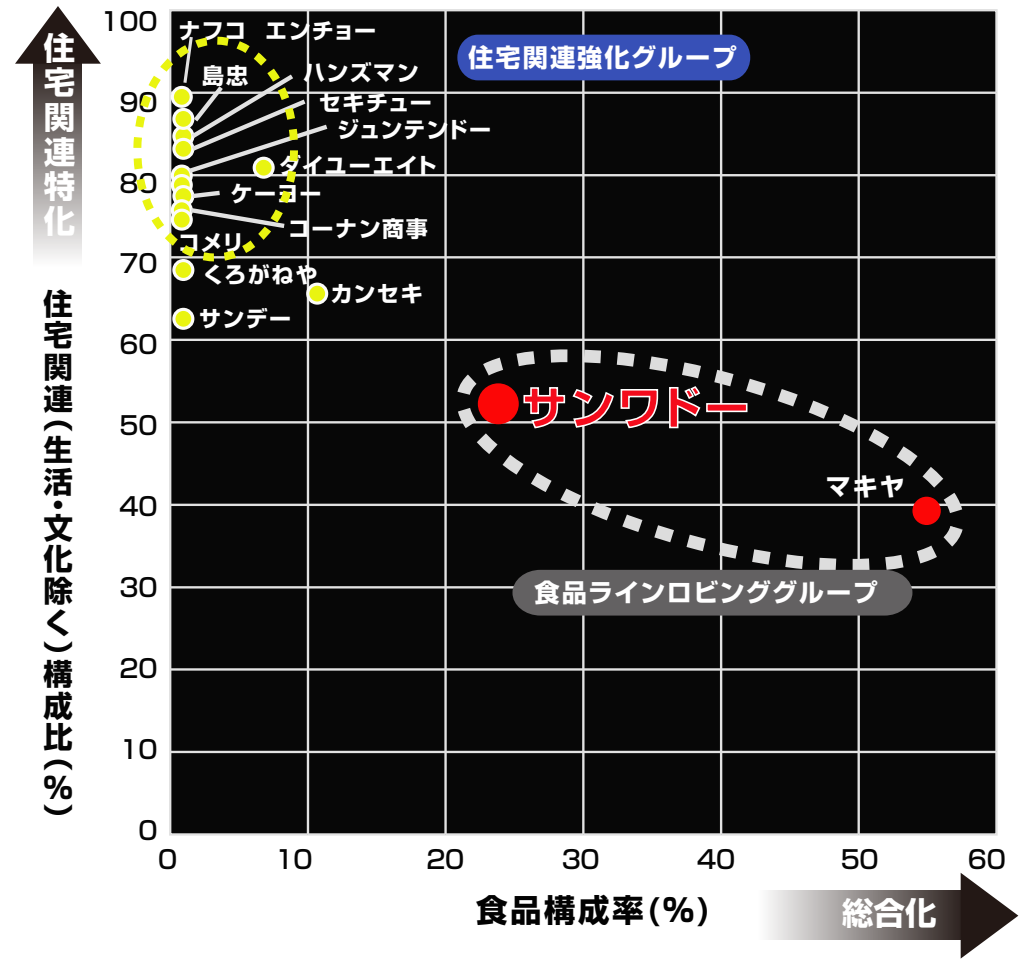
# HC業界における弊社のポジショニング

HC業界におけるサンワドールの強みは低い販管費比率と高い食品構成比率による新しいHC業態の構築

### 小売営業利益近似値ポジショニング



### 商品別売上高構成比ポジショニング



※販売革新2011年9月号P53のデータを引用し自社加工。あくまで参考値。

# 損益について

## ○ 売上総利益は増益

震災需要により、定番商品の販売数および金額が伸びたことと、値下額の抑制を計画通りに実施したことにより、金額、率ともに増加し、前年同期比254百万円増加の3,313百万円。

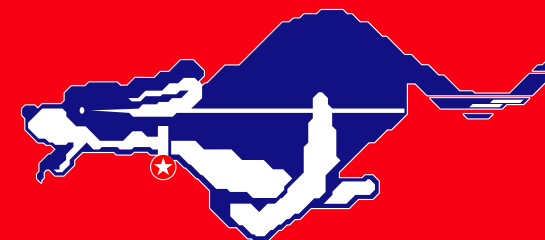
## ○ 販管費を抑え営業利益もプラスに

販管費は、改装による減価償却費の増加を、不動産賃借料引き下げや、広告宣伝の効率向上に努め、最小限とし前年同期比65百万円増加の2,824百万円。営業利益は、売上総利益の増加で、前年同期比188百万円増の489百万円。

## ○ 特別損失を計上

第1四半期に特別損失170百万円を計上（資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額122百万円、震災による商品破損及び建物損壊等31百万円、東京電力株式時価下落による投資有価証券評価損14百万円）したことで、第2四半期連結累計期間の純利益は前年同期比7百万円減の85百万円となりました。

# SANWADO



## サンワドー

# 5. 連結損益計算書



## 連結ベース 損益の推移

(単位：百万円)

	前々期 22年2月期 第2四半期		前期 23年2月期 第2四半期		当期 24年2月期 第2四半期		前期比		備 考
	前期差	増減率							
売上高	14,615	—	▲14,430	—	▲15,404	—	974	6.8%	
売上総利益	3,067	21.0%	3,059	21.2%	▲3,313	21.5%	254	8.3%	
販管費	2,906	19.9%	2,759	19.1%	▲2,824	18.3%	65	2.4%	
営業利益	160	1.1%	▲300	2.1%	▲489	3.2%	188	62.9%	
経常利益	129	0.9%	▲272	1.9%	▲483	3.1%	211	77.7%	
当期純利益	13	0.1%	92	0.6%	85	0.6%	▲7	—	
ROA (総資産経常利益率)	0.7%	—	▲1.5%	—	▲2.7%	—	1.2Pt	—	ROA = 経常利益 ÷ 総資産
ROE (純資産当期純利益率)	0.3%	—	▲2.1%	—	1.9%	—	▲0.2Pt	—	ROE = 当期純利益 ÷ 純資産

# 5. 販管費の状況



## 連結ベースでの販管費の内訳

(単位：百万円)

	前々期 22年2月期 第2四半期	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期差	前期比
人件費	1,411	1,352	<b>1,416</b>	64	104.7%
広告宣伝費	206	187	↓ <b>168</b>	▲19	89.9%
水道光熱費	208	193	↓ <b>190</b>	▲3	98.8%
不動産賃借料	514	483	↓ <b>473</b>	▲10	98.0%
減価償却費	96	97	<b>110</b>	13	113.3%
合 計	2,906	2,759	<b>2,824</b>	65	102.4%

人件費の内訳：

役員報酬、給与、手当、出向社員給与、雑給与、賞与、賞与引当金繰入額、役員賞与引当金繰入額、役員退職慰労引当金繰入額、退職金、適格退職年金掛金、法定福利費、福利厚生費、採用費、教育研修費、出向社員給与戻り

# 5. 個別損益の状況



(単位：百万円)



	(株)サンワドー			(株)ワールドジャンボ			三和部品(株)			※ 修正		グループ合計		
	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期比	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期比	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期比	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期 23年2月期 第2四半期	当期 24年2月期 第2四半期	前期比
売上高	13,539	<b>14,416</b>	106.5%	707	<b>785</b>	111.0%	244	<b>245</b>	100.3%	▲60	<b>▲42</b>	14,430	<b>15,404</b>	106.8%
売上総利益	2,793	<b>3,022</b>	108.2%	226	<b>250</b>	110.8%	38	<b>38</b>	99.7%	1	<b>2</b>	3,059	<b>3,313</b>	108.3%
販管費	2,522	<b>2,580</b>	102.3%	222	<b>240</b>	108.2%	36	<b>35</b>	97.1%	▲22	<b>▲32</b>	2,759	<b>2,824</b>	102.4%
営業利益	271	<b>441</b>	162.6%	3	<b>9</b>	278.1%	1	<b>2</b>	149.1%	23	<b>34</b>	300	<b>489</b>	162.9%
経常利益	266	<b>467</b>	175.7%	4	<b>12</b>	285.5%	2	<b>3</b>	130.5%	▲0	<b>1</b>	272	<b>483</b>	177.7%
当期純利益	94	<b>75</b>	79.9%	▲0	<b>8</b>	-	▲0	<b>1</b>	-	▲0	<b>▲0</b>	92	<b>85</b>	92.1%

※修正はグループ間取引を相殺するためのものです。

# 今期の売上計画について

今期計画

## ○ 食品部門の売場増設で売上を上方修正

食品部門の売場を増設強化する改装を行い、客数を伸ばすことで、ホームセンター部門等への波及を図ります。これにより、買上点数並びに、客単価を上げ、売上向上を目指してまいります。

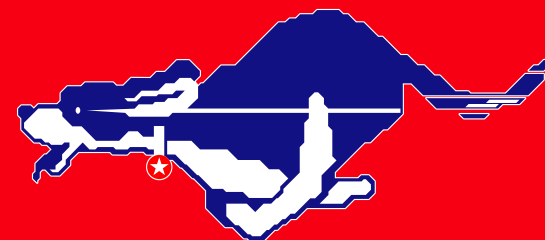
## ○ 豊富な品揃えと原価改善で既存店売上増

継続して取り組んでおります、売れ筋商品V3000品目については、扱い品目を拡大し、あわせて原価ボーリングを押し進めます。

これにより、お客さまに喜んでもらえる地域一番の価格設定及び、豊富な品揃えを提供してまいります。

また、店舗施設の改築、修繕等を徹底実施し、お客さまにとって「分かりやすい売場」「楽しい売場」「快適な店舗」を提供してまいります。

# SANWADO



サンワドー

# 今後の取組むべき課題

世界的な経済不安の状況下においても、当社グループは中長期的な経営戦略に基づきながら、様々な内外の課題に取り組んで参ります。



長引く震災の復興



ユーロ不安



放射能／電力不足



止まらない円高

## 食品部門の強化、利便性向上



安心、安全の食品調達と、食品部門を中心とした改装で、お客さまの生活に役立つ商品をどこよりも安く、豊富に提供。

「分かりやすい売場づくり」「楽しい売場」「店内施設の快適重視」「接客の向上」を図ります。

## 在庫の圧縮

前期導入の単品在庫管理システムの精度をさらに高め、売れ筋商品および不活動在庫をメーカー、ベンダー、パイヤーそして売場担当者等が共有し、入れ替え等の対策を迅速に行うことで在庫圧縮を図ります。



## 粗利益率改善の推進

輸入商材及びPB商品の開発強化、さらにメーカー、ベンダーとの関係強化によるNBの値入率向上を図り、粗利率の改善を行なってまいります。



## ローコストオペレーション

総労働時間の圧縮、人時生産性の向上を図る「ワークスケジュール」の精度を上げて無駄な人件費を省きます。また、店舗電気設備や空調設備等を省エネタイプへ徐々に切り替え、水道光熱費を削減し、ローコストオペレーションを実施してまいります。

# 今期の収益計画について

## ○ 売上総利益を増加

年間販売数の提示などでメーカー、およびベンダーとの関係強化と、高付加価値商品（SP1000）の拡販を進めることで粗利益率を向上させ、併せて単品在庫管理システムの精度を向上することで不活動在庫の圧縮やロスが発生を削減し、売上総利益を上げてまいります。

## ○ 販管費のムダ・ムラ・ムリをさらに削減

水道光熱設備のエコ化を推進と運転コストの削減、広告配布エリアの絞込みや広告実施回数の見直し等で広告宣伝費の効率化を図り、更なる削減に努めてまいります。

## ○ 当期純利益200百万円

第2四半期期間の特別損失は震災の被害の増加等により170百万円を計上しましたが、今後、大きな特別損失等の見込みは無く、通期の当期純利益は、200百万円となる予想です。

SANWADO



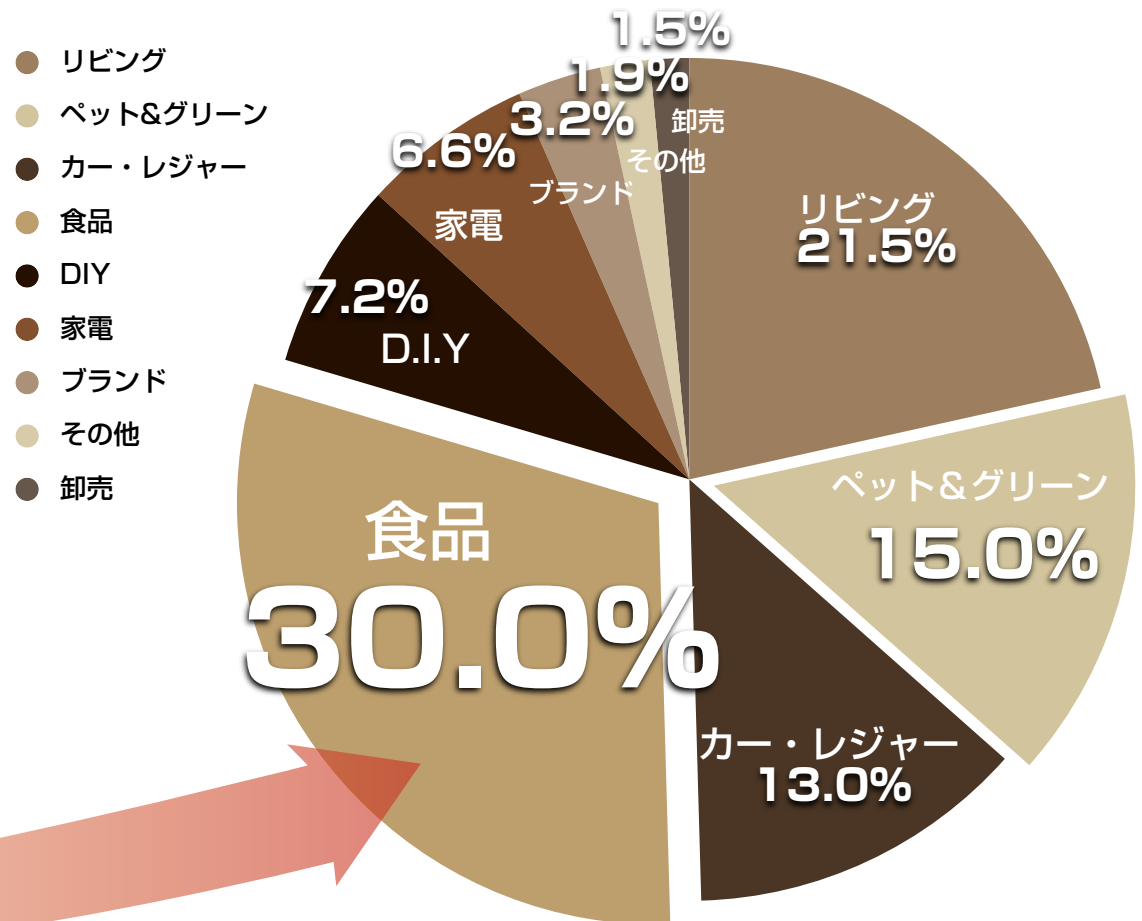
サンワドー

# 6. 部門別の売上構成予算

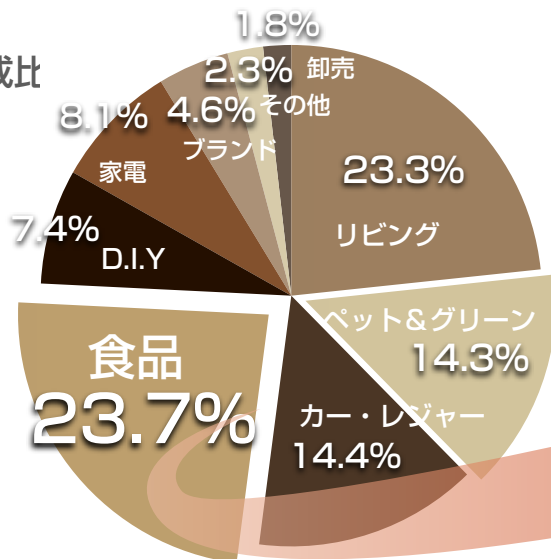


	H23年2月期実績	H24年2月期予算
リビング	23.3%	21.5%
ペット&グリーン	14.3%	15.0%
カー・レジャー	14.4%	13.0%
食品	23.7%	30.0%
D.I.Y	7.4%	7.2%
家電	8.1%	6.6%
ブランド	4.6%	3.2%
その他	2.3%	1.9%
卸売	1.8%	1.5%

H24年2月期売上高構成比予測



H23年2月期売上高構成比



# 6. 平成24年2月の経営計画



## 連結及び単体の計画値

(単位：百万円)

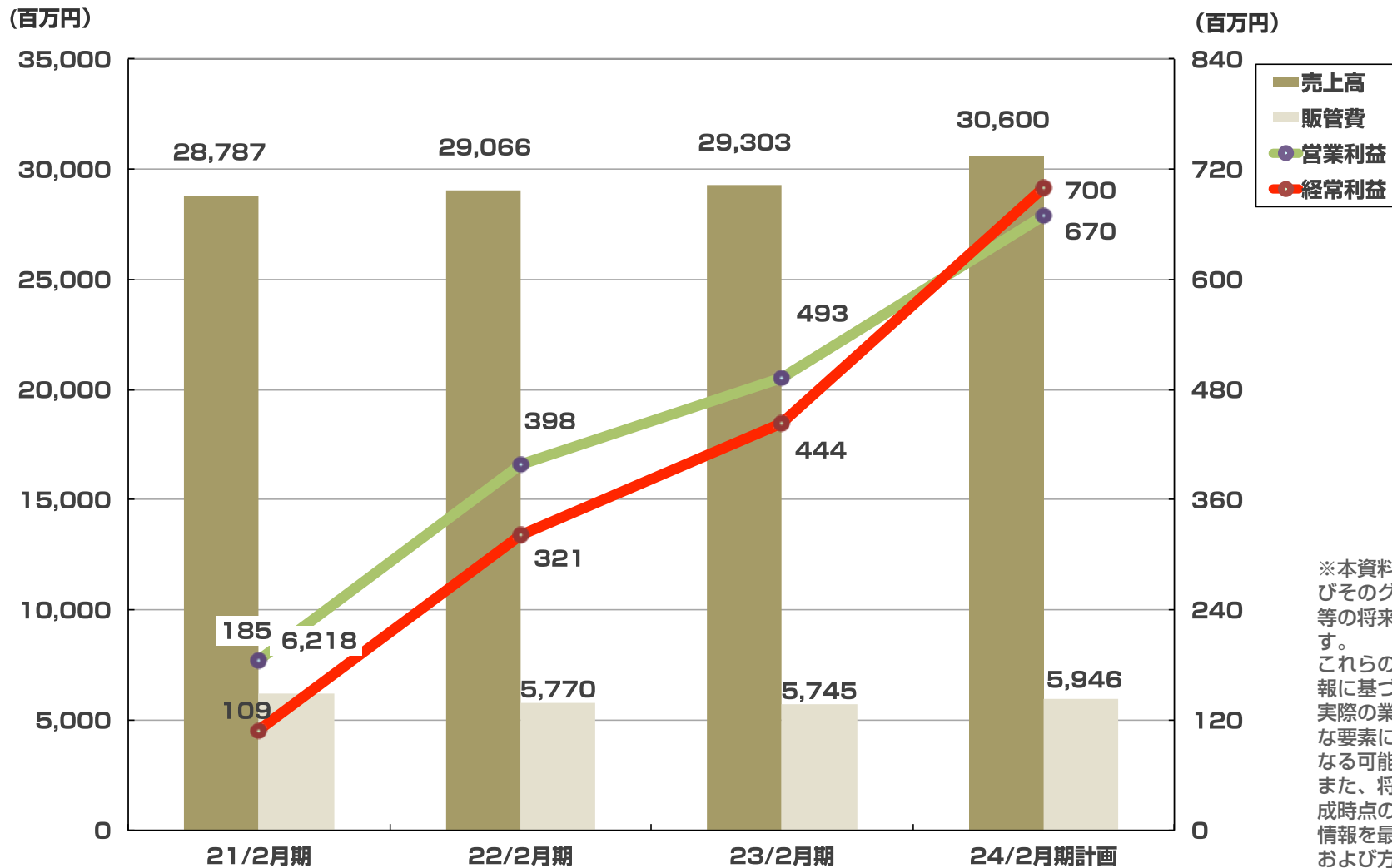
	連 結				単 体			
	23年2月期 実績		24年2月期 計画		23年2月期 実績		24年2月期 計画	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	29,303	100.8%	<b>30,600</b>	<b>104.4%</b>	27,267	100.5%	<b>28,300</b>	<b>103.8%</b>
売 上 総 利 益 (売上総利益率)	6,238 (21.3%)	101.1%	<b>6,616</b> <b>(21.6%)</b>	<b>106.1%</b>	5,616 (20.6%)	100.7%	<b>5,950</b> <b>(21.0%)</b>	<b>105.9%</b>
販 管 費	5,745	99.6%	<b>5,946</b>	<b>103.5%</b>	5,237	98.8%	<b>5,350</b>	<b>102.1%</b>
営 業 利 益	493	123.7%	<b>670</b>	<b>135.8%</b>	378	136.2%	<b>600</b>	<b>158.5%</b>
経 常 利 益	444	138.4%	<b>700</b>	<b>157.3%</b>	384	155.7%	<b>630</b>	<b>164.0%</b>
当 期 純 利 益	137	127.0%	<b>200</b>	<b>145.2%</b>	108	165.1%	<b>155</b>	<b>142.9%</b>

※本資料には、株式会社サンワドーおよびそのグループ会社に関する予想、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらの情報は、現時点で入手可能な情報に基づく予測等を基礎としています。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の予想と大きく異なる可能性があります。また、将来情報に関する記述は本資料作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務および方針を有しておりません。

# 6. 業績の推移



連結ベース



※本資料には、株式会社サンワドーおよびそのグループ会社に関する予想、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらの情報は、現時点で入手可能な情報に基づく予測等を基礎としています。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の予想と大きく異なる可能性があります。また、将来情報に関する記述は本資料作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務および方針を有しておりません。

# ○株価動向

## 株価の推移

平成19年3月～23年9月



## 配当状況

	20年2月	21年2月	22年2月	23年2月	24年2月 予定
<b>年間配当金</b>	10円	10円	10円	10円	<b>12円</b>

※24年2月期は、10円の普通配当に加え創業45周年の記念配当2円を予定しております。

## 株主優待

	選べるギフト				
500株以上 1,000株未満	3,000円相当				
	完熟りんご ジュース	健康野菜 セット	つがりあん メロン	嶽きみ (とうもろこし)	商品券
1,000株以上	5,000円相当				
	完熟りんご ジュース	健康野菜 セット	つがりあん メロン	嶽きみ (とうもろこし)	商品券

※「りんごジュース」「つがりあんメロン」「嶽きみ」「健康野菜セット」とともに、県内外の株主の皆さまからご好評をいただいております。



# ○継続的な社会貢献活動

764施設 総額1億5,700万円

昭和52年、マッサージ器5台の寄贈で始まったこの活動は、各時代の必要性も反映し、カラーテレビ、BSテレビ、ビデオカメラ、パソコンなどのほか、車椅子などの寄贈も含め、平成22年まで34年間継続して行ってまいりました。

これまでの寄贈先施設数は延べ764施設、寄贈額は1億5,700万円を越し、県内の様々な施設でご利用いただいております。



## 東日本大震災 義援金寄付

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、日本に大きな被害をもたらせ、その復興には長い時間がかかることが予想されます。

そのような中、多くの被災された皆様の生活や被災地の復興への支援といたしまして、青森県に1,000万円の義援金を寄付させていただきました。

## 「掃除に学ぶ会」青森支部としての



今や世界規模にまで発展している「日本を美しくする会」。

サンワドーでは、平成8年に青森支部を立ち上げてから16年間、毎年青森市内の小・中学校で、トイレ清掃を実施しています。

最近では、親子や学校関係者の参加も増え、平成23年は341名も参加していただきました。

## ねぶた祭りで「ごみ0作戦」

「ねぶた祭り」期間中のゴミ拾い「ごみ0作戦」。観光客の皆さまに、より快適に祭りを楽しんでいただこうと今年で4年目を迎えました。

